

第3章 基本的な整備方針

3-1 都心交流ゾーン

■まちづくりの方向性

人を引き寄せる、回遊とにぎわいのあるまちづくり（刈谷駅周辺）

市の「顔」として、魅力的で皆が愛着を持ち、市内外に誇ることができる高次都市機能を備える駅前空間づくりを目指します。

また、地域住民をはじめ、企業に勤める多くの就業者、学生、来訪者の誰もが、集い、回遊しやすい活気とにぎわいのあるまちづくりを目指します。

■基本的な整備方針

- ①安全で快適な歩行空間の形成
- ②魅力ある複合的な駅前空間と交流拠点施設の形成
- ③回遊性を高める歩行空間の形成とにぎわいの創出
- ④利用しやすい交通結節機能の強化
- ⑤やすらぎと心地よさを感じる憩い空間の活用

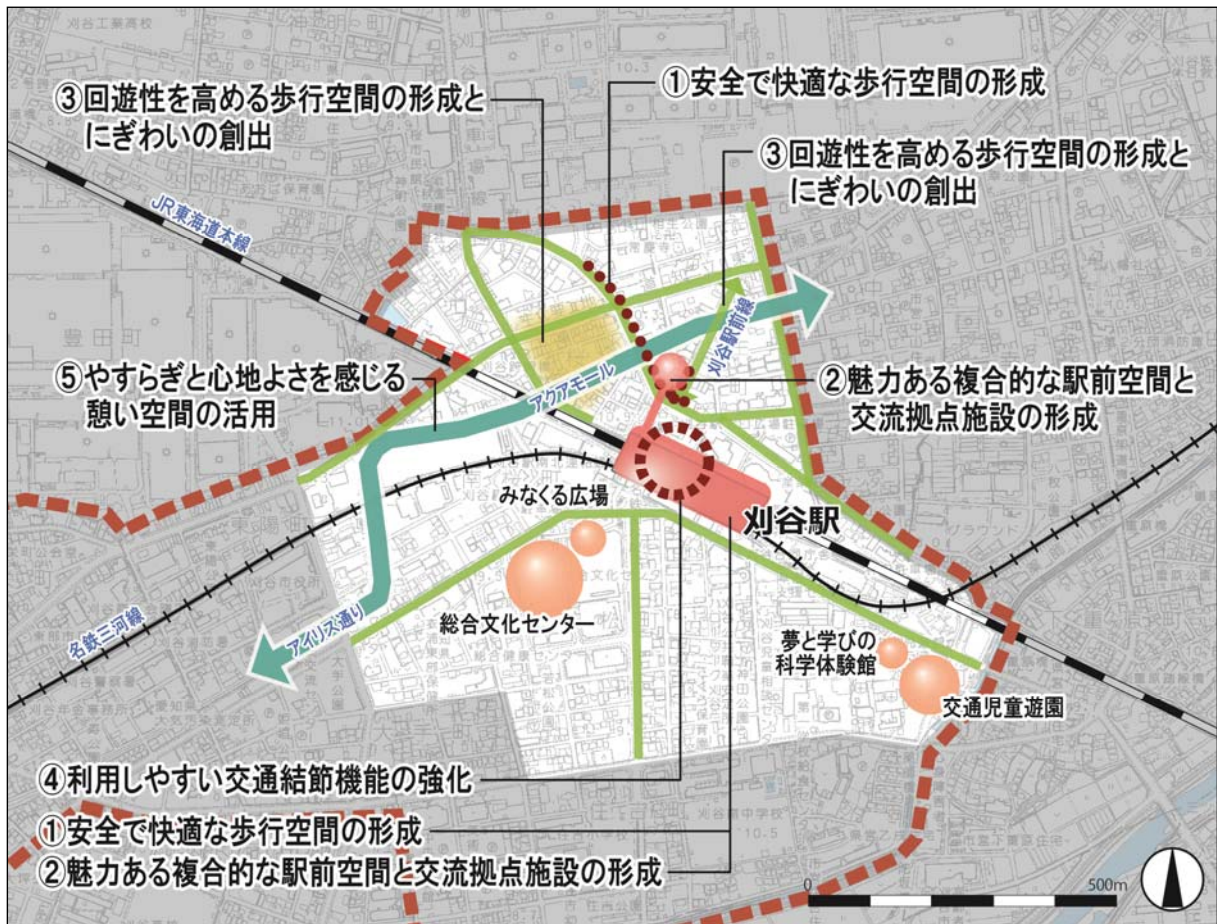


図 3-1 都心交流ゾーンの整備方針図

①安全で快適な歩行空間の形成

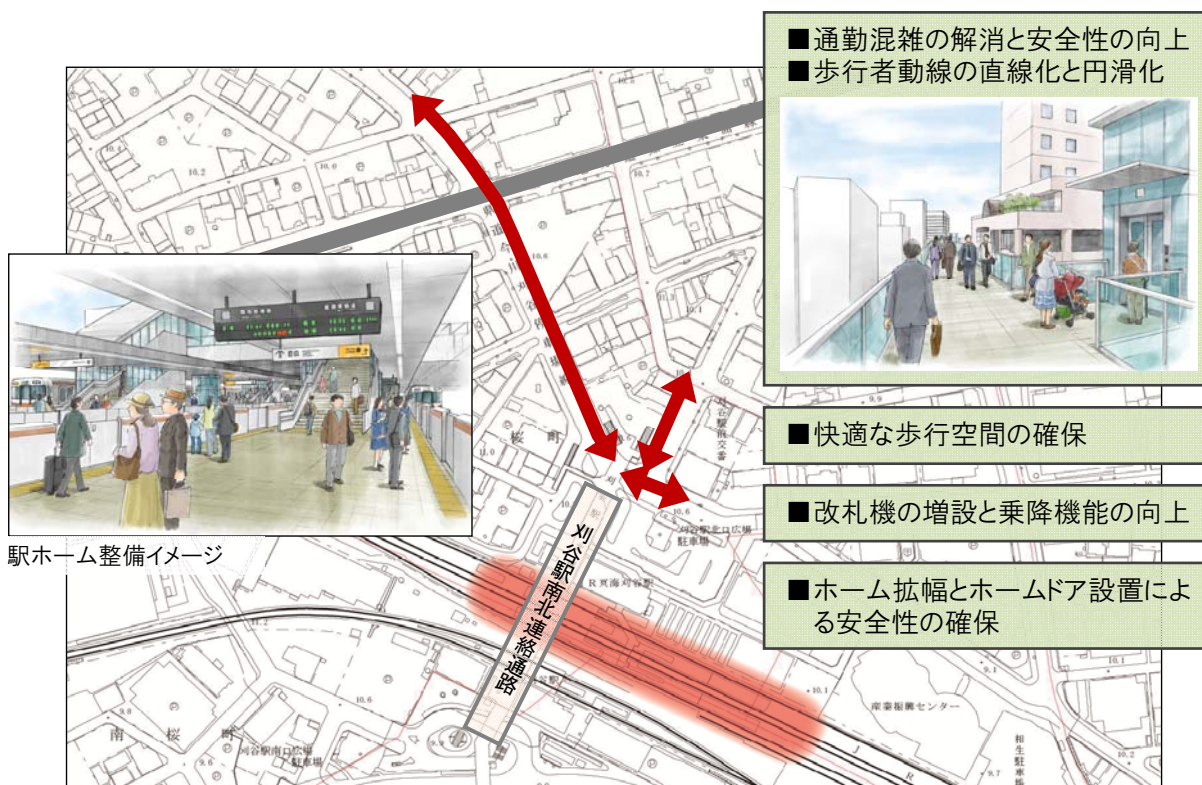
◆基本的な施策

○刈谷駅北口周辺の通勤・通学時における歩行者の安全で円滑な移動環境の確保と駅周辺の回遊性とアクセス利便性を向上させるため、歩行者デッキの整備を推進します。

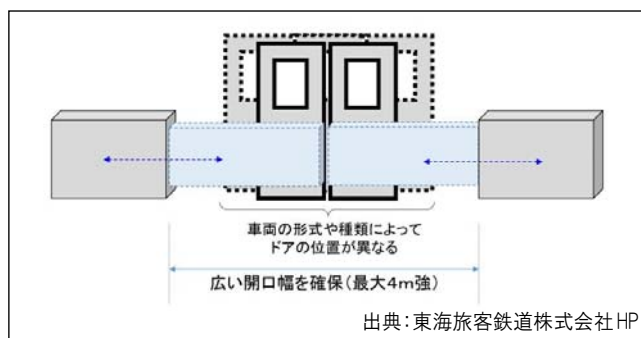
【刈谷駅南北連絡通路基本構想】

○JR刈谷駅の利用者の安全性と利便性の向上を図るため、鉄道事業者と連携を図りながら、駅ホームの拡幅とホームドア（ホーム可動柵）の設置等、誰もが安全で利用しやすい駅施設の形成を推進します。

【JR刈谷駅ホーム等改修事業】



ホームドア(ホーム可動柵)
(JR 金山駅 実証試験中)



出典:東海旅客鉄道株式会社HP

ホームドア(ホーム可動柵)のイメージ

②魅力ある複合的な駅前空間と交流拠点施設の形成

◆基本的な施策

○刈谷駅北口駅前の市有地を活用し、商業、観光案内所や住宅などが複合した施設を整備することにより、多彩な駅前機能の充実を図り、活気とにぎわいの創出、まちなか居住を促進します。

【刈谷駅北地区整備事業】

商業、公共施設、事務所、住居などの機能を備えた施設

■ 便利な駅前暮らしを実現させる良好な居住環境

■ 交通利便性の高さを生かしたビジネス拠点機能

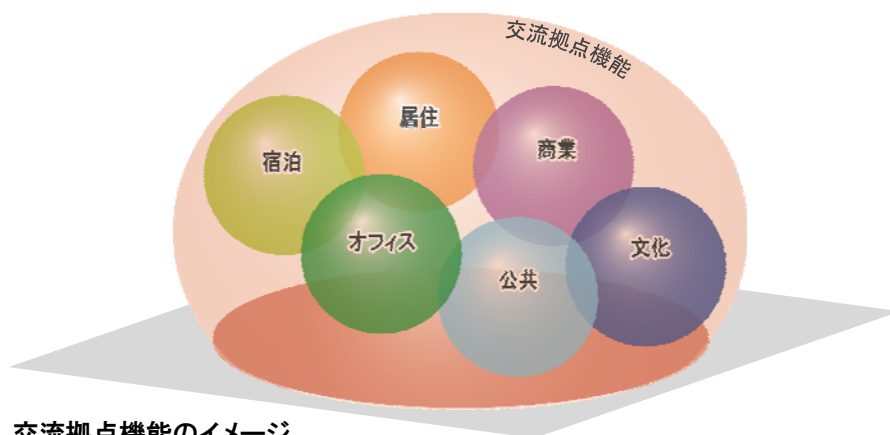
■ 市民、就業者、来訪者等が、集い・楽しみ・憩うことができる商業・公共機能



刈谷駅北地区整備事業完成予想図

○市の玄関口としてふさわしい駅前空間の創出を目指し、刈谷駅北口における新たなランドマークとして、商業・業務・文化・居住・宿泊など、様々な都市の拠点機能が複合した施設の立地を、JR刈谷駅の駅施設改修と合わせて誘導するとともに、展示場、ホール及び駐輪場など公共施設の配置計画について検討します。また、計画の実現に向けて民間活力による公的資産の有効活用や総合設計制度などの各種制度の活用により、多角的な視点から事業手法を検討します。

【刈谷駅と一体となった交流拠点施設の充実】



交流拠点機能のイメージ

③回遊性を高める歩行空間の形成とにぎわいの創出

◆基本的な施策

○刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化と安全性の向上を図るとともに、安心安全な歩行空間の確保及びまちづくり活動と一体となった新たなにぎわい空間の創出を図り、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを推進します。

【刈谷駅前線道路新設改良事業】

【歩道等活用の検討】

○アクアモール及び刈谷駅前線などの軸となる通りから路地空間までヒトを引き寄せるため、^{かいわい} 界隈性・回遊性を高める歩きやすいみちづくりを推進します。

【道路再整備の検討】



刈谷駅北口のシンボルロードのイメージ

■ 景観に配慮した街路灯や樹木を設置し、歩きたくなる空間を創出

■ 各主体が協働して良好なまちなみを形成

■ ゆとりある安心安全な歩行空間の確保

■ 歩行者や利用者の利便増進を図る仕組みづくりの検討

(歩道等を活用したにぎわいづくりの参考事例)



(群馬県高崎市)



(福岡県福岡市)

④利用しやすい交通結節機能の強化

◆基本的な施策

○北口駅前広場のバス乗降場と待機場の増設や一般車両との動線分離による駅前空間の有効活用、並びに新たな交通広場の確保の検討を行い、利用しやすい交通結節機能の強化を図ります。

【刈谷駅北口駅前広場の交通結節機能の強化】



○市内外からの利用者が総合文化センター、夢と学びの科学体験館、交通児童遊園、みなくる広場などの「集い・楽しみ・憩うことができる空間」を利用しやすくするため、駅・駅前広場やその周辺街区を含めた一体的なアクセス利便性の強化を推進します。

【公共バスの広域利用の推進】

【歩道整備事業】



⑤ やすらぎと心地よさを感じる憩い空間の活用

◆ 基本的な施策

○ 世界かんがい施設遺産に登録された明治用水が流れるアクアモールを水辺と緑に触れ合える、やすらぎと心地よさを感じる憩いの空間として活用します。

【アクアモール活用の検討】



アクアマールの様子



アクアマールでのイルミネーションの様子



アクアマールの水辺

■ 魅力的な水辺の散策ができる歩道の維持・改善

■ 緑を感じられる空間の保全・活用

■ 市民が親しみを持てるようなまちづくり活動を支援

3-2 生活交流ゾーン

■まちづくりの方向性

便利なまちなかに住もう、歩いて暮らせるまちづくり（刈谷駅周辺～刈谷市駅周辺）

刈谷駅、刈谷市駅の2つの交通結節点をつなぎ、市内の循環とともに市外各所との交通利便性の高いまちづくりを目指します。

また、公共施設等が集まる立地特性を生かして、多種多様な都市機能が生活圏内に存在する、歩いて暮らせるまちづくりを目指します。このように、便利な住環境を実現させることにより、まちなか居住を促進します。

■基本的な整備方針

- ①アクセス便利で歩きやすい歩行空間の形成
- ②ものづくりの技術や文化を発信する拠点機能の発掘
- ③緑豊かなまちなみ景観の形成

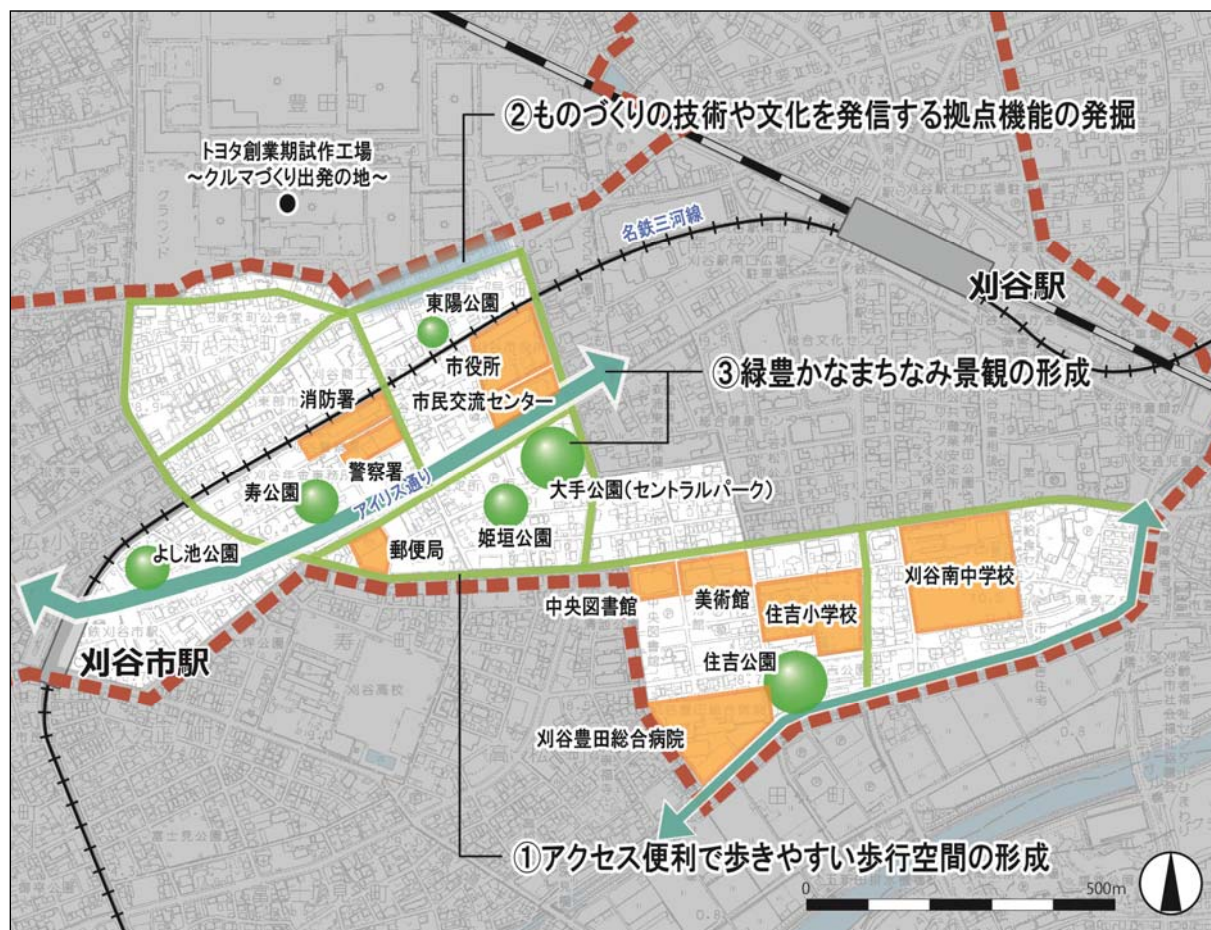


図 3-2 生活交流ゾーンの整備方針図

①アクセス便利で歩きやすい歩行空間の形成

◆基本的な施策

- 市民の暮らしに欠かせない重要な役割を担う公共施設と2駅間をつなぐ道路を中心に、電線類地中化や歩道の段差等解消などバリアフリー化を進めるとともに、歩行者・自転車・自動車の通行の分離を図ることで、誰もが歩きやすい歩行空間の形成を推進します。

【刈谷環状線電線類地中化事業】

【歩道整備事業】



刈谷環状線の整備イメージ



出典：安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン
(国土交通省道路局、警察庁交通局)

②ものづくりの技術や文化を発信する拠点機能の発掘

◆基本的な施策

- 本ゾーンの北側には、様々な最先端技術を駆使した自動車関連産業の工場が立ち並んでいます。これらの地域資源を生かすとともに、ものづくりのまちとしての情報発信の推進、新たな地域資源の発掘や創造する仕組みづくりを検討します。

【産業観光資源の発掘・創造の検討】

■地域の歴史を再認識し、愛着を持てる
仕組みづくりを検討する



トヨタA1型 試作第1号車のおはらい風景
(トヨタ産業技術記念館提供)



トヨタ創業期試作工場 ～クルマづくり出発の地～
(愛知製鋼株式会社提供)

③ 緑豊かなまちなみ景観の形成

◆ 基本的な施策

○アイリス通りを活用し、くつろぎ・楽しみながらまちなみ散策ができる水辺と緑に触れ合える空間の創出を図ります。

【アイリス通り活用の検討】

○市役所、中央図書館、美術館、小中学校、公園、道路、河川等の公共施設において、樹木や草花の適切な維持管理や植栽を行い、緑豊かなまちなみ景観の形成を進めます。

【公共空間の緑化推進】



大手公園(セントラルパーク)



アイリス通り



中央図書館



美術館

3-3 歴史文化交流ゾーン

■まちづくりの方向性

歴史と文化に触れる、交流と愛着の感じられるまちづくり（刈谷市駅～亀城公園周辺）

刈谷の歴史・文化に触れる地域への「玄関口」として、市民や来訪者などにも優しい駅前空間づくりを目指します。

また、地域に残された歴史的・文化的資源を掘り起こし光をあてて、新たな地域資源として磨きをかけて際立たせ、歴史に触れる楽しみが感じられる愛着のあるまちづくりとともに、市内外の人たちが交流を育むことができる環境づくりを目指します。

■基本的な整備方針

- ①誇りと愛着を育む歴史・文化拠点の形成
- ②城下町の風情を感じられるまちなみの形成
- ③活気とにぎわいのある駅前交流空間の創出
- ④駅や歴史・文化拠点をつなぐ回遊ネットワークの形成
- ⑤水辺と緑を感じるやすらぎ空間の保全・活用

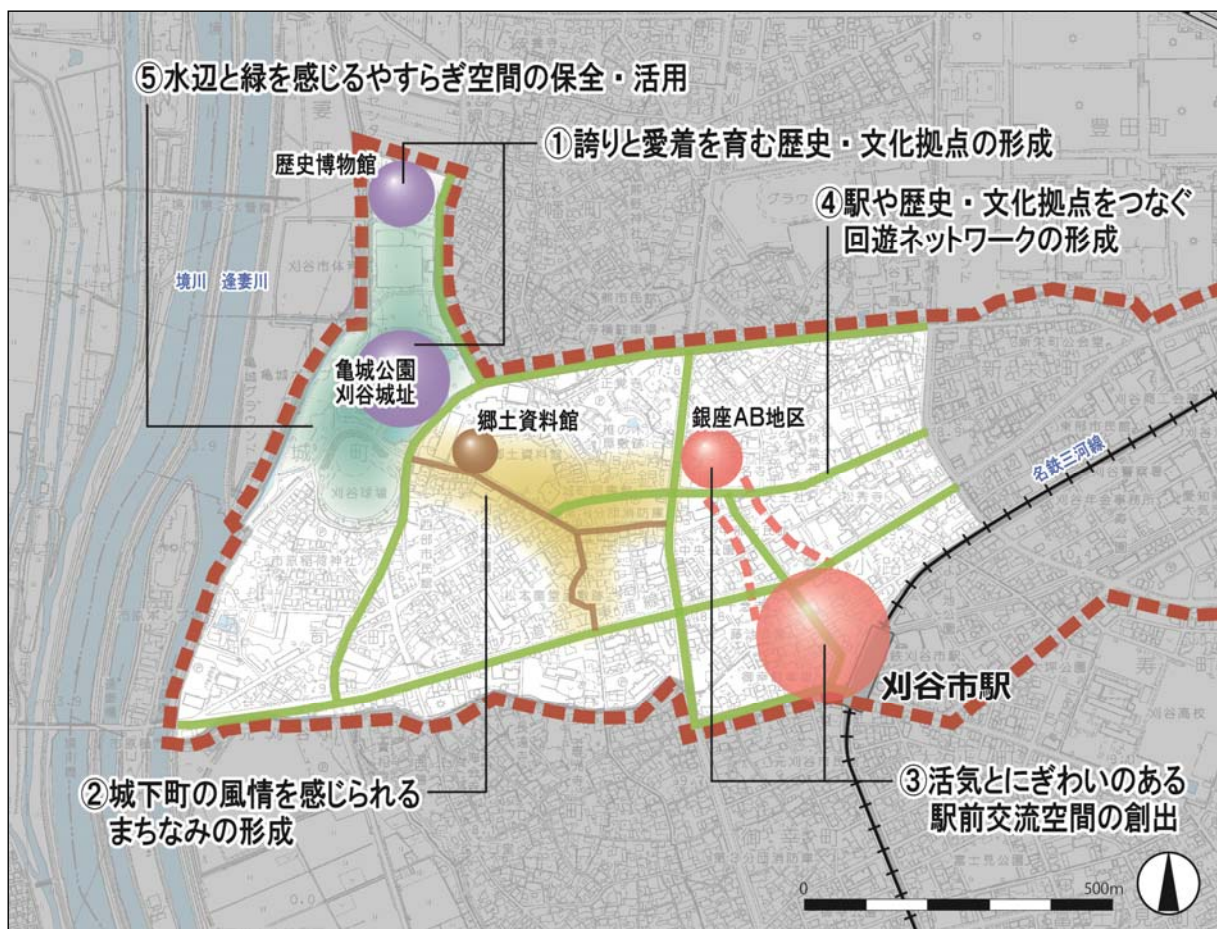


図 3-3 歴史文化交流ゾーンの整備方針図

①誇りと愛着を育む歴史・文化拠点の形成

◆基本的な施策

○かつて刈谷城にあった石垣や隅櫓^{すみやぐら}などを復元し、活用することにより、歴史や文化に出会い、楽しむことができる、市民の誇りと愛着を育む新たなシンボルづくりを推進します。

【亀城公園再整備事業】



■発掘調査、城絵図、文献、類似調査を根拠とした歴史的建造物の復元



○現在の刈谷に繋がる“モノガタリ”を「見て」「知って」「体感・体験」できる歴史と伝統文化を楽しみながら学び、次世代へ継承する拠点づくりを推進します。

【歴史博物館の活用】



■何度も訪れたいくなる仕組みづくり
■魅力ある展示の工夫



○情緒あふれるおもてなしと、ふるさとの魅力を発信する刈谷ならではの個性豊かなにぎわいの空間づくりを周辺公共施設との総合的な調和がとれるよう調整しながら検討します。

【亀城公園周辺公共施設再配置の検討】

②城下町の風情を感じられるまちなみの形成

◆基本的な施策

○歴史的な趣が残る通りや建築物など、周囲のまちなみや景観を一体的に活用することにより、歴史を感じながら歩いて暮らせるまちづくりを推進します。

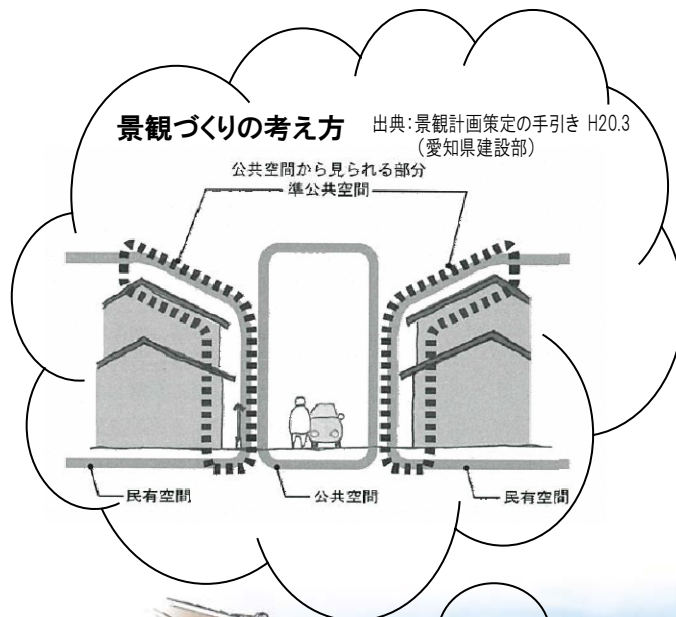
【まちなみ景観形成・道路再整備の検討】

○地域住民の交流の場、まちなみ散策を行う人たちの休憩の場、歴史や文化の発信の場などとして活用できる空間を整え、地域をつなぐ、昔ながらの風情を醸し出すまちづくりを推進します。

【城町図書館施設用途の検討】

○地域に残る歴史的・文化的資源を再認識し、地域住民や来訪者にも愛される古民家など歴史的建造物を活用した趣のある地域づくりを推進します。

【歴史的建造物の保存・活用】



- 地域住民の交流の場
- まちなみ散策の休憩の場
- 歴史や文化の発信の場

- 歴史的・伝統的建造物の保存・活用手法の検討



③活気とにぎわいのある駅前交流空間の創出

◆基本的な施策

○商業、住宅、保育所、高齢者向け施設等の複合施設を整備することにより、地域住民が支え合いながら安心して暮らすことができる新たな地域コミュニティの形成を図るとともに、多世代間交流の創出やまちなか居住の促進を図ります。

【銀座AB地区整備事業】

○都市拠点として、また本ゾーンの玄関口として重要な役割を担う刈谷市駅とその周辺において、駅前広場と沿道の商店街が一体となり、民間活力も活用した市街地再開発等による都市基盤の再生・整備を推進します。

【刈谷市駅前市街地再開発の検討】

○景観にも配慮した快適な都市空間の形成を進め、地域住民の暮らしはもとより、市外から訪れる人も活気とにぎわいを感じることができる駅前空間の創出を推進します。

【刈谷市駅駅前広場整備の検討】



④ 駅や歴史・文化拠点をつなぐ回遊ネットワークの形成

◆ 基本的な施策

○市の代表的な祭りである「万燈祭」など、地域の伝統文化を感じることができる回遊性や交流性を高めるみちづくりを推進します。

【道路新設改良事業：市道 2-496 号線・市道 2-485 号線】

○駅と施設をつなぐ道路を中心に、電線類地中化や歩道の段差等解消などの整備を実施することにより、歩きやすい歩行空間の形成を推進し、回遊ネットワークの強化を図ります。

【電線類地中化事業】

【歩道整備事業】

- 地域の伝統文化を感じることができるみちづくり
- 歩きやすく、人々が集まる歩行空間の形成



■ 市道 2-496 号線
道路新設改良事業完成イメージ図

⑤水辺と緑を感じるやすらぎ空間の保全・活用

◆基本的な施策

○亀城公園周辺の風致地区や神社境内地などの樹林や緑地の保全を図り、自然的景観の維持、形成に努めるとともに、水と緑に触れ合える、やすらぎ空間を創出します。

【良好な自然的景観の維持・保全】

○桜など季節の風情と歴史的な趣を感じながら気軽にまちなみ散策ができるやすらぎ空間を形成します。

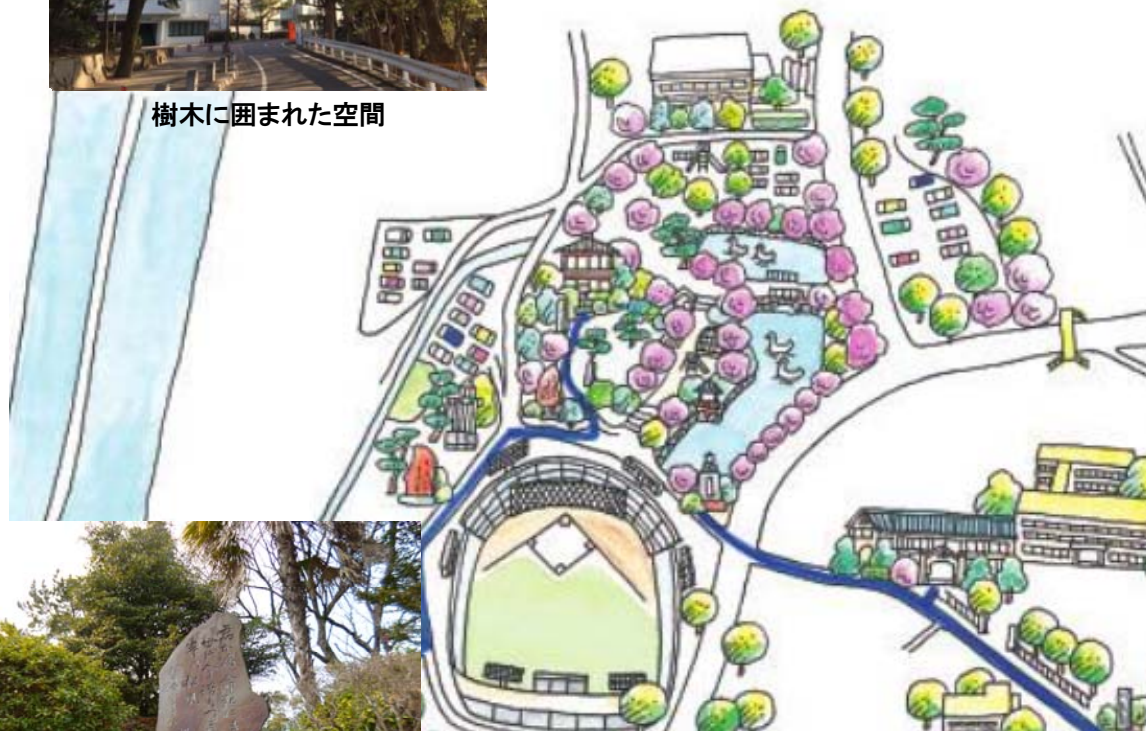
【公共空間の緑化推進】



樹木に囲まれた空間



亀城公園の桜



(歴史の小径 城下町コースより抜粋)



文化遺産と調和する緑の木々

3-4 計画の推進に向けて

本市では、魅力と活気の一層の創出と安心安全で住み良い住環境の形成を目指した各種計画の検討、事業の実施などを進めています。

地域住民・事業者・行政などは、地域のあるべき姿を共有し、それぞれの役割を明確にした上で、課題の解決に向けた検討を行う協働の環境（場や機会）と体制を整えることが必要です。

特に、本計画に示したハード整備を主とした取組みに加えて、大勢の人が来訪する仕掛けづくりや地域住民にとって住み良い住環境の維持・向上を図るためのソフト施策に取り組むことが、今後の持続可能なまちづくりにおいては不可欠です。

(1)地域住民・事業者等の役割

地域には、様々な年代、立場や価値観を持った人たちが暮らしています。市民一人ひとりが安心安全に暮らし続けられるようにするためには、自らが暮らす「地域」に関心を寄せ、愛着を持ち、まちづくりの主役であるという認識のもと率先してまちづくり活動に参画する意識を持つことが必要です。

また、地域住民、学生、事業者、NPO法人等が、それぞれ主体的かつ積極的にまちづくり活動に取り組むことが重要であり、互いの立場等を尊重し、より良い知恵を出し合うなど、まちづくりに関する情報交換ができる場や機会を創出することが望まれます。

(2)市の役割

地域住民や事業者等がまちづくり活動に参加できる仕組みづくりを進めるとともに、各主体と連携を図りながら、協働してまちづくりの課題解決ができるよう支援します。

また、市民をはじめ多くの方々が訪れる公共空間などを効率的に活用し、誰もが気軽に交流でき、にぎわいを創出する体制や環境づくりを推進します。

